

プログラマブルかプラグアンドプレイか？IDS の オートフォーカスカメラ uEye XC が UVC プロトコルにも対応しました

品質保証から物流タスク、キオスクシステムまで、すぐ利用できる最適なフォーカス画像情報を活用して、最適な決定を行い、ミスを防ぎ、作業プロセスをスピードアップできます。頻繁にリフォーカスが必要な場合は、消費者向けの Web カメラが最適です。それに対して、産業用途では、操作が簡単なだけでなく、丈夫さと耐用性も要求されます。そこで、IDS Imaging Development Systems GmbH は コンパクトなオートフォーカスカメラ uEye XC を開発しました。USB3 Vision に加え、産業用途向けの信頼性の高い Web カメラとして UVC プロトコルも選択できるようになりました。

この実用的なカメラには、13 MP onsemi センサーが搭載され、次の 2 種類のプロトコルからお選びいただけます。プラグアンドプレイかつカスタマイズ可能な USB3 Vision モデルまたは UVC 対応のモデルです。UVC は、USB Video Class の略で、カメラにケーブルを接続するだけで設定や操作ができます。そのため、物体との距離が常に変化する場合でも、高解像の詳細な画像やビデオがダイレクトに提供されます。これにより、可能な限り少ない労力で高速な画像キャプチャが必要な用途に最適です。また、カメラには、デジタルズーム、自動ホワイトバランス、色補正機能が搭載されています。これらは、コンベアベルト上の物体、小包のバーコード、ラベルを認識するために必要です。

消費者向け Web カメラとは異なり、uEye XC オートフォーカカメラは産業用途専用設計されています。軽量のマグネシウム製ハウジングと 32 x 61 x 19 mm (幅 x 高さ x 奥行) のコンパクトなサイズにより、画像処理システムに簡単に統合できます。すばやく交換できるマクロレンズ (オプションとしてご利用いただけます) を利用すると、カメラと物体との最小距離を短縮でき、品質管理などの接写用途に最適です。

詳しい情報は：<https://jp.ids-imaging.com/ueye-xc-autofocus-camera.html>



- uEye XC は、産業用品質のプラグアンドプレイを提供します



- UVC プロトコル対応のオートフォーカスカメラ uEye XC も登場

IDS Imaging Development Systems GmbH について

IDS Imaging Development Systems GmbH は、産業用カメラのトップメーカーであり、産業用画像処理におけるパイオニアです。個人経営企業の IDS は、強力な汎用 USB、GigE、3D カメラのモジュール式概念と、人工知能 (AI) 搭載のモデルを開発しました。カメラの用途はほぼ無限で、産業セクターでも非産業セクター

でも、装置、プラント、機械工学で活躍しています。AI 画像処理プラットフォーム IDS NXT は汎用性に優れ、従来のルールベースの画像処理では限界に達してしまう、新たな用途分野の可能性を実現します。IDS は *visionpier* というオンラインマーケットプレイスを運営し、既製の画像処理ソリューションのサプライヤーと、関心を持つエンドカスタマーを、的を絞って結び付けます。

1997年に社員2人の会社として創立して以来、IDSは、社員およそ350名の独立したISOおよび環境認定ファミリー企業へと発展しました。本社はドイツ・オーバーズルムにあり、開発と生産を担っています。米国、日本、韓国、英国、フランス、オランダに子会社と支店と置き、グローバルに事業を展開しています。

アイ・ディー・エス株式会社

〒108-0073

東京都港区三田1丁目3-33 三田ネクサスビル3階

Sales contact

電話番号: +81 3 4500 8864

apacsales@ids-imaging.com

<https://jp.ids-imaging.com>

IDS Imaging Development Systems GmbH

Dimbacher Str. 10

74182 Obersulm

Germany

Claudia KIRSCH

電話番号: +49 7134 96196 0

c.kirsch@ids-imaging.de

www.ids-imaging.com